

平成30年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	宮沢 吉浩
全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	246-9000
事務事業名	4142 ごみ処理施設運営事業										
所 属	121000 市民環境部・生活環境課										
施 策	03011200 循環型社会の形成と環境衛生施設の適切な管理										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	040202 衛生費・清掃費・清掃センター費									
	事業	030000 ごみ処理施設運営事業									
事業目的						事業概要・効果					
市内から排出された一般廃棄物の適正処理及び管理を行い、健康且つ清潔で衛生的な市民生活の確保を図る。また、廃棄物のリサイクルを推進し、循環型社会の形成を促進する。						清掃センターに搬入された可燃ごみの焼却、不燃ごみの破砕等の適正処理を行う。 ごみ処理に際し有害物質の発生を抑制し、自然環境の保全を図る。 搬入された廃棄物から再利用可能な資源物を分別し、リサイクルを行うことにより、循環型社会の形成が促進される。 【部長査定】					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行った。	ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行った。
平成29年度 実績	平成30年度 予定
ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行った。	ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行う。また、粗大（不燃）ごみ処理施設の改修準備を実施する。
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	客観性のある安定した指標が困難である。				
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		200,793	196,667
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	3,000
	その他	168,631	120,487
一般財源	32,162	73,180	
人員数(人)	正規職員	3.2	0.0
	嘱託職員	9.1	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	22,876.8	0.0
	嘱託職員	25,170.6	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	48,047.4	0.0
市民一人当たりの経費	4.8	3.8	
総額	248,840.4	196,667.0	

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	109,042	消耗品費14,984、燃料費3,181、電気料25,671、修繕料65,916
13節 委託費	50,002	機器点検委託料2,560、ばいじん量等測定委託料2,054、焼却灰等処分委託料37,403、シルバー人材センター委託料2,739外
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	41,749	土地借上料5,163外

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	53,899	機器点検委託料2,660、ばいじん量等測定委託料2,429、焼却灰等処分委託料43,000、シルバー人材センター委託料2,832外
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	142,768	土地借上料5,163外

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	衛生的で快適な市民生活を保持するため、適正なごみ処理を行わなければならない。また、安全に安定した施設の運転ができるように事故防止等に努めた。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	ごみの適正処理のため、ごみ搬入時に分別指導等を実施した。また、ごみステーションから収集された、危険物、処理困難物など不適物について分別指導を実施した。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	可燃ごみの広域処理に向け、老朽化した施設を維持管理していくために、修繕内容を精査したうえで、必要な修繕を実施した。また、継続して、安全に適正なごみ処理を行うため、毎月の安全推進会議の実施、小型車両系建設機械及びクレーン運転講習を受講するなどした。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

平成31年3月より、長野広域連合によるA焼却施設（仮名）が本稼働する予定であり、定期修繕についても、焼却施設の廃止を考慮するなかで、特に内容を精査し実施した。また、作業中の安全対策を徹底し、継続して適正なごみ処理が実施できるよう努めた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>衛生的な市民生活を維持するためにも必要不可欠な事業。安全かつ安定したごみ処理に努める必要があり、可燃ごみが広域処理化された後も、粗大（不燃）ごみ処理施設を改修し、適切に維持管理を進めていく必要がある。</p>		<p>可燃ごみ等の適切な処理のため、清掃センターの適切な維持管理に努めた。今後、可燃ごみの広域化に伴い、焼却施設の解体、撤去に要する財源について検討する必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	